

産業保健研修会のご案内（平成30年度）

<京都産業保健総合支援センターとの共催>

お申し込みは下記（一覧表の下）をご参照ください。

※以下の研修会は日医認定産業医研修会として申請中

日時・場所	テーマと概要	定員	講師
1月9日(水) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	<p>「労働衛生保護具取扱い及び保守点検」</p> <p>粉じんマスク、防毒マスク等の各種の労働衛生保護具について、種類から取り扱いまで実技を通じて学びます。</p> <p>生涯（実地）2単位</p>	50名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 高田 志郎
1月12日(土) 午後2時～ 午後4時 産保センター 2階会議室 AB ※公共交通機関を ご利用ください	<p>「海外勤務者の新たな健康管理対策」</p> <p>海外の職場では国内とは異なる健康問題が存在するため海外勤務者を抱える企業では、この集団に特化した健康管理体制の構築が求められています。本研修会では海外の職場における健康問題とその対策について解説をいたします。</p> <p>生涯（専門）2単位</p>	55名	東京医科大学病院 渡航者医療センター 教授 濱田 篤郎氏
1月17日(木) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	<p>「健康と医療に関する情報のチェックポイント ～エビデンスに基づく産業保健に向けて～」</p> <p>今日、健康や医療の情報は、メディア、インターネット、口コミなどさまざまな形で世の中に溢れています。</p> <p>しかし、何が正しいのか、何を信じたらよいのか、分からなくなっているのが現代人の共通の悩みとも言えます。情報に振り回されず、それを活用できる力はヘルスリテラシー、または健康情報リテラシーと呼ばれます。</p> <p>講演では、より良い産業保健の専門家にとって必要な情報のチェックポイントと、その手がかりとなる疫学やエビデンスについてのお話しをしたいと思います。</p> <p>生涯（専門）2単位</p>	66名	京都大学大学院 医学研究科 副研究科長 社会健康医学系専攻 専攻長 健康情報学分野 教授 中山 健夫氏
1月23日(水) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	<p>「法令の眼から見る職場巡視のポイント(製造業編)」</p> <p>職場巡視は産業医、衛生管理者などに法で義務付けられた重要な職務です。産業保健スタッフが職場巡視を行うときの視点について、安衛法や諸規則の観点から、写真などで紹介しながら解説します。</p> <p>生涯（更新）2単位</p>	66名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 玉泉 孝次

日時・場所	テーマと概要	定員	講師
1月31日(木) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「メンタルヘルス対策 産業医・精神科医交流会(事例検討会)」 労働衛生機関の産業医が経験したメンタルヘルス不調の事例を提示し、各事例のポイントについて杉本講師(精神科医)のコメントを得ながら討議を行います。 生涯(実地) 2単位	66名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 杉本 二郎 相談員 森口 次郎
2月14日(木) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「じん肺健康診断について ～診断書の書き方を中心に～」 呼吸器系の疾患を取り扱う医師を対象に、じん肺症の概要・じん肺にともなう合併症・診断書の書き方を説明し、じん肺症にかかる適切な診断技術の向上を図ることを目的とします。 生涯(専門) 2単位	66名	旭労災病院 院長 宇佐美 郁治氏 北海道中央労災病院 副院長 大塚 義紀氏 北海道中央労災病院 名誉院長 木村 清延氏
2月21日(木) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「職場における腰痛予防」 職場は事務作業から製造業・運送業従業者に至るまで、あらゆる職場で発生し、毎年、労災休業の最大の原因となっています。2013年に「職場における腰痛予防対策指針」が19年ぶりに改訂されました。改定内容で社会的に注目されたのが、社会福祉施設や医療機関での介護職員や看護師に腰痛予防対策が新たに示された点です。 改定された腰痛予防対策指針に基づいて腰痛の発生要因や対策について解説します。また、社会福祉施設・医療機関については対策事例を紹介します。 生涯(専門) 2単位	66名	滋賀医科大学社会学講座 衛生学部門 准教授 埴田 和史氏
2月27日(水) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	「オフィス環境の職場巡視」 製造現場のないオフィスビルなどでは、危険有害要因もなく職場巡視の必要性が低いと思われがちで、実際に職場巡視をしていない企業も少なくありません。 実際にはオフィス環境にも多くの危険有害要因があります。講師が実際に経験した例を紹介しつつ、注意深くチェックするべきポイントについて解説します。 生涯(専門) 2単位	66名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 山田 達治
2月28日(木) 午後2時～ 午後4時 市民交流プラザ ふくちやま 視聴覚室 (JR福知山駅すぐ) ※公共交通機関をご利用ください	「働き方改革改正関連法の解説と過重労働対策」(北部地区) 6月に成立した長時間労働の是正等を目的とした働き方改革関連法(原則2019年4月施行)と今後の労働時間管理を通じた過重労働対策を考えます。特に、36協定の限度時間を超える時間外労働が厳格に規制されることから、労働時間の厳格な管理が今後の問題になってくると思われます。そこで、着替えなどの準備作業の労働時間性の問題、在宅勤務の取り扱い、宿・日直の時間の取り扱い、出張・外勤などの事業場外労働の労働時間の考え方など労働時間とは何かについて解説します。また併せて産業医の権限強化に関する安衛法の改正についても解説します。 生涯(更新) 2単位	35名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 玉泉 孝次

日時・場所	テーマと概要	定員	講師
3月6日(水) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	<p>「産業医に求められる課題解決の考え方」</p> <p>産業医業務を行っている、専門ではない分野で課題解決を求められることが起こります。事業場のニーズに医療の専門家としてどのように対応すればよいのか、講師が経験した事例を基に考えます。</p> <p>生涯(実地) 2単位</p>	50名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 櫻木 園子
3月9日(土) 午後2時～ 午後4時 産保センター 2階会議室 AB ※公共交通機関を ご利用ください	<p>「有害業務管理のための特殊健康診断」</p> <p>有害業務を管理する有効な手段としての「特殊健康診断」のスキルは、産業医にとって重要なスキルの一つである。特殊健康診断について概説するとともに、そのエッセンスについて述べる。</p> <p>生涯(専門) 2単位</p>	55名	山田誠二産業保健センター 所長 山田 誠二氏
3月13日(水) 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)	<p>「ストレスチェック後の高ストレス者・メンタルヘルス不調者への対応 ―専門職・管理職・家族等との連携・協働体制をどうつくるか―」</p> <p>高ストレス者・メンタルヘルス不調者の支援には、事業場内外の専門職、また身近な存在である管理職や同僚、さらに家族等の連携と協働が欠かせない。本講演では、身体的症状・精神的症状・心理社会的問題、実存的問題のアセスメントを行った上で、誰がどのような役割を果たすかを見える化し、共有するための枠組みとツールについてご紹介します。</p> <p>生涯(専門) 2単位</p>	66名	近畿大学総合社会学部 准教授 本岡 寛子氏

■ お申し込み方法 ■

「京都産業保健総合支援センター」ホームページ (<https://www.kyotos.johas.go.jp>) からお申し込みください。

定員に達している場合はお申し込みできませんので、ホームページでご確認ください。

■ お問い合わせ先 ■

独立行政法人労働者健康安全機構 京都産業保健総合支援センター

電話 075-212-2600 FAX 075-212-2700

〒604-8186 京都市中京区車屋町通御池下ル梅屋町361-1 アーバネックス御池ビル東館5階